

麻醉・蘇生学

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	1人
病院教授	0人
准教授	1人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	2人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	4人 (2人)
診療助教	5人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	6人
研修医	2人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	2人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合 計	23人

1-2 教員の異動状況

中島芳樹(教授) H27.5.1～ 現職
加藤孝澄(准教授) H15.10.1～ 現職
牧野 洋(講師) H23.4.1～ 現職
御室総一郎(講師) H27.2.1～ 現職
谷口美づき(助教) H19.2.1～ 現職
川島信吾(助教) H27.7.1～ 現職
鈴木興太(助教) H25.1.1～ 現職
吉田香織(助教) H28.9.1～ 現職
八木原正浩(診療助教) H27.5.1～ 現職
柳 由紀(診療助教) H27.4.1～ 現職
朝羽 瞳(診療助教) H25.4.1～ 現職
川島若菜(診療助教) H27.8.1～ 現職

3 論文, 症例報告, 著書等

	平成28年度
(1)原著論文数(うち和文のもの)	9編 (4編)
そのインパクトファクターの合計	6.112
(2)論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3)総説数(うち和文のもの)	3編 (3編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4)著書数(うち和文のもの)	7編 (7編)
(5)症例報告数(うち和文のもの)	7編 (7編)
そのインパクトファクターの合計	0.000

(1) 原著論文

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	Kawashima S, Suzuki Y, Sato T, Kikura M, Katoh T, Sato S.: Four-Group Classification Based on Fibrinogen Level and Fibrin Polymerization Associated With Postoperative Bleeding in Cardiac Surgery, Clinical and Applied Thrombosis/Hemostasis, 22(7):648-55, 2016.	1.973
2.	御室総一郎, 木村哲朗, 栗田忠代士, 土井松幸, 加藤孝澄, 佐藤重仁, 中島芳樹: 吸入一酸化窒素(NO)の出血性ショックに対する生存率の改善効果, Medical Gases 18(1), 69-71, 2016.	0.000

論文数(A)小計 2 うち和文 1 IF小計 1.973

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	Akinaga C, Uchizaki S, Kurita T, Taniguchi M, Makino H, Suzuki A, Uchida T, Suzuki K, Itoh H, Tani S, Sato S, Terui K.: Randomized double-blind comparison of the effects of intramyometrial and intravenous oxytocin during elective cesarean section., Journal of obstetrics and gynaecology research, 42(4), 404-409, 2016.	1.091
2.	Kurita T, Kawashima S, Morita K, Nakajima Y.: Use of a Short-Acting β 1 Blocker During Endotoxemia May Reduce Cerebral Tissue Oxygenation if Haemodynamics are Depressed by a Decrease in Heart Rate., Shock, Nov 15, 2016.	3.048
3.	小林賢輔, 御室総一郎, 中島芳樹: 一酸化窒素は心肺蘇生後の生存率を改善する可能性がある ラット窒息モデルを用いた検討, Medical Gases 18(1), 67-68, 2016.	0.000
4.	鈴木祐二, 川島信吾, 佐藤恒久, 西野淳子, 木倉睦人: フィブリノゲン値とフィブリン重合の複合シミュレーションと自験症例によるフィブリノゲン補充療法の評価, 麻酔, 65(6), 566-572, 2016.	0.000
5.	木村哲朗, 岩田紘樹, 牧野洋, 鈴木明, 加藤孝澄, 中島芳樹: 超音波装置を用いた下肢屈曲による大腿動静脈径および大腿静脈位置変化の検討, 麻酔 65(10), 1000-1004, 2016.	0.000

論文数(B)小計 5 うち和文 3 IF小計 4.139

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	Obata Y, Adachi YU, Suzuki K, Itagaki T, Kato H, Satomoto M, Nakajima Y.: The Influence of Differences in Solvents and Concentration on the Efficacy of Propofol at Induction of Anesthesia., Anesthesiology Research and Practice, 9178523-9178523, 2016.	検索不能
2.	夏目 貴弘(藤田保健衛生大学 医療科学部放射線学科), 外村 和也, 牧野 洋, 木村 哲朗, 梅村 和夫 臨床用3T-MRIを用いたマウス脳イメージング環境の構築, 脳循環代謝 27巻2号 Page235-241(2016)	0.000

論文数(C)小計 2 うち和文 0 IF小計 0.000

(3) 総説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	中島芳樹: 血管内皮におけるグリコカリックスとその保護, 臨床麻酔 40(5), 711-720, 2016.	0.000
2.	中島芳樹: 吸入麻酔薬, 麻酔科学レビュー2016, 61-67, 2016.	0.000

総説数(A)小計 2 うち和文 2 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	森田耕司, 小楠敏代, 市川美智華, 中島芳樹: JAMSの歩んできた10年とこれからの展望 JAMSとともに歩んだ高機能患者シミュレータ(HPS)の10年とこれからの展望, 日本臨床麻酔学会誌, 36(3), 329-333, 2016.	0.000

総説数(B)小計 1 うち和文 1 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

総説数(C)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

(4) 著書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

著者: タイトル, 出版社名, 巻, 初頁-終頁(頁数), 発行年.		IF
1.	御室総一郎: 整形外科手術: A頸椎手術, 麻酔・手術後の患者管理, 269-270, 2016.	
2.	御室総一郎: 整形外科手術: B脊髄損傷患者に対する手術, 麻酔・手術後の患者管理, 270-272, 2016.	
3.	御室総一郎: 一般的な使用法: デスフルランによる麻酔導入と維持(3)薬物相互作用, 日本臨床麻酔学会誌, 36(3), 377-383, 2016.	
4.	御室総一郎: 内分泌外科手術: A甲状腺機能亢進症, 麻酔・手術後の患者管理, 260, 2016.	
5.	御室総一郎: 内分泌外科手術: B褐色細胞腫, 麻酔・手術後の患者管理, 261-263, 2016.	

著書数(A)小計 5 うち和文 5

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

著書数(B)小計 0 うち和文 0

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

著者: タイトル, 出版社名, 巻, 初頁-終頁(頁数), 発行年.		IF
1.	福田英一, 御室総一郎, 土井松幸: 麻酔科クリニカルクエスト, 診断と治療社, 122-125, 2016.	
2.	澄川耕二, 原哲也, 御室総一郎, 土井松幸: 麻酔・手術後の患者管理, 269-272, 2016.	

著書数(C)小計 2 うち和文 2

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

症例報告数(A)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.		IF
1.	木村哲朗, 佐野秀樹, 鈴木興太, 中島芳樹: 持続尺骨神経ブロックで周術期管理した手指壊死痛の1症例, 日本ペインクリニック学会誌, 23(1), 21-24, 2016.	0.000
2.	木村哲朗, 加藤孝澄, 小笠原 孝, 御室 総一郎, 牧野 洋, 鈴木 明, 佐藤重仁: 臨床経験 経食道心エコープローブ挿入におけるMcGRATH MACの有用性の検討, 麻酔, 65(1), 68-74, 2016.	0.000
3.	木村哲朗, 御室総一郎, 鈴木興太, 加藤孝澄, 中島芳樹: 慢性頸部痛に対して超音波ガイド下頸椎後枝内側枝パレス高周波法が奏効した2症例, ペインクリニック, 37(6), 805-808, 2016.	0.000

症例報告数(B)小計 3 うち和文 3 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.		IF
1.	成瀬智, 内崎紗貴子, 三村真一郎, 谷口美づき, 秋永智永子, 佐藤重仁: 硬膜外無痛分娩中に褥瘡を発症した1症例, 麻酔, 65(6), 643-645, 2016.	0.000
2.	成瀬智, 岩田紘樹, 鈴木興太, 浦岡雅博, 加藤孝澄, 佐藤重仁: 皮膚試験で代替役を決定してから麻酔を安全に施行しえたロクロニウムによるアナフィラキシーの既往を有する症例, 麻酔, 65(6), 646-648, 2016.	0.000
3.	岩田紘樹, 木村哲朗, 五十嵐寛, 加藤孝澄, 中島芳樹, 佐藤重仁: 下腸間膜動脈神経叢ブロック後に消化管出血を生じショックに至った症例, 日本ペインクリニック学会誌, 23(2), 124-125, 2016.	0.000
4.	佐野秀樹, 木村哲朗, 寺田和弘, 加藤孝澄, 中島芳樹: 五苓散が奏効した症候性三叉神経痛の1例, 日本ペインクリニック学会誌, 23(4), 568-569, 2016.	0.000

症例報告数(C)小計 4 うち和文 4 IF小計 0.000

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	1件

1. (出願中) 発明者: 御室総一郎(代表者: 医療安全管理室 鈴木明) 特願番号: 特願2016-085871

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	5 件	580 万円
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4) 科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6) 財団助成金	0 件	0 万円
(7) 受託研究または共同研究	0 件	0 万円
(8) 奨学寄附金	14 件	443 万円

(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)

1.	植田 広(代表), 人工心臓によるレミフェンタニルの蛋白結合率変化による薬物動態学的変化, 平成28年度～平成29年度	180万円
2.	御室総一郎(代表), 加藤孝澄(分担), 基盤研究(C), 出血性ショック後の臓器障害に与える一酸化窒素吸入の効果に関する研究, 平成27年度～平成29年度	120万円
3.	加藤孝澄(代表), 川島信吾(分担), 基盤研究(C), 高齢者の術前運動療法の周術期心筋保護と術後回復促進のメカニズムに関する研究, 平成25年度～平成28年度	40万円
4.	牧野洋(代表), 基盤研究(C), 腸内細菌叢制御による脳動脈瘤破裂予防の研究, 平成27年度～平成29年度	110万円
5.	川島信吾(代表), 36℃低体温法の心筋虚血再灌流障害保護作用: 水素によるさらなるROSの制御, 平成28年度～平成30年度	130万円

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1) 国際学会	(2) 国内学会
1) 基調講演・招待講演回数	0 件	0 件
2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
3) 学会座長回数	0 件	5 件
4) 学会開催回数	0 件	0 件
5) 学会役員等回数	0 件	11 件
6) 一般演題発表数	2 件	

(1) 国際学会等開催・参加

6) 一般発表

6-1) 口頭発表

1.	Hiroshi Makino, Junker: an anesthesiologist who loved Japan, Anesthesia History Association, 2016.04, Indianapolis (United States of America)
----	---

6-2) ポスター発表

1.	Soichiro Mimuro, Improvement of survival and organ protection after haemorrhagic shock by treatment, European Society of Anaesthesiology, 2016.5, London (England)
----	--

(2) 国内学会の開催・参加

3) 座長をした学会名

1.	中島芳樹, 日本麻酔科学会第63回学術集会, 福岡県福岡市, 2016年5月
2.	牧野 洋, 日本麻酔科学会第63回学術集会, 福岡県福岡市, 2016年5月
3.	中島芳樹, 日本心臓血管麻酔学会第21回学術集会, 神奈川県横浜市, 2016年9月
4.	中島芳樹, 日本蘇生学会第35回学術集会, 福岡県久留米市, 2016年11月
5.	中島芳樹, 日本臨床麻酔学会第36回大会, 高知県高知市, 2016年11月

5) 役職についている国内学会名とその役割

1.	中島芳樹 (・日本麻酔科学会 東海・北陸地区 理事・日本シミュレーション学会 理事・日本蘇生学会 評議員・日本区域麻酔学会 評議員・日本心臓血管麻酔学会 評議員)
----	---

2. 加藤孝澄（・日本麻酔科学会東海・北陸地区 理事・日本シミュレーション学会 理事・日本ペインクリニック学会東海北陸地区 理事・日本臨床麻酔学会 評議員）
3. 牧野 洋（・日本麻酔科学会 麻酔博物館委員・日本麻酔科学会 国際麻酔科学史シンポジウム2021招致検討専門部会 部会員）

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1)外 国	(2)国 内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1)国際共同研究	0 件
(2)国内共同研究	0 件
(3)学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

(3)国内での授賞

1. 関本悠香、周産期心筋症を疑われ、緊急帝王切開後に褐色細胞腫と診断され、全身麻酔下に副腎腫瘍摘出を施行した1例、日本麻酔科学会東海・北陸支部第14回学術集会 優秀論文賞、2016年9月

12 新聞、雑誌、インターネット等による報道

13 その他の業績